



大腸がんの症状などについて学んだがんセミナー

大腸がんの 症状に理解

製鉄病院でセミナー

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）主催の市民公開講座「第22回がんセミナー」が30日、室蘭市知利別町の同院1階ラウンジで開かれた。参加した市民約100人が大腸がんの症状や治療法などについて理解を深めた。

同院の外科・消化器外科主任医長の早馬聡医師が講師となり、「大腸がんについて」をテーマに講演。早馬医師が「食生活の欧米化が原因と言われ、近年急速に増加している。運

動不足や肥満の人がなりやすい」と説明した。「血便が症状の中で最も多い。早期の発見により内視鏡によるがん細胞の切除が可能で、高い治療効果が得られる。ぜひ定期的に検診を受けましょう」と呼び掛け、治療の詳細や手術方法を解説した。（石川綾子）